

せいじの

平成27年3月

146号

青磁野リハビリテーション病院
 せいじの健診センター
 介護老人保健施設 青翔苑
 グループホーム あおばの家
 地域介護相談センター けあまっぶ城西
 訪問看護ステーション城西
 せいじのヘルパーステーション
 サービス付き高齢者向け住宅 ファインテラスせいじの
 熊本市西2地域包括支援センター



医療法人金澤会
 理事長 金澤 知徳

今年の元日の昼過ぎ、澄みわたった空に誘われるように初詣に出かけました。向かった先の

出水神社は参拝客で賑わい、列の最後尾は水前寺公園の参道付近まで並んでいました。覚悟を決めて並びましたが、思いのほか進みも早く、20分くらいで境内に到着。快晴でもさすがに冬です。時折吹いてくる冷たい風に冷えきった両手を合わせて、今年の平穩を願いました。

いつもですと、三が日はこのまま何となく過ぎるのですが、実は今年は違ったのです。何と新幹線で京都にまいりました。しかも、たまたま61年ぶりに正月の京都に雪が積もったというニュースに驚き、20cmを越す雪の中、キラキラと輝く金閣寺の美しさに、感激一杯の小旅行でした。

平安神宮では沢山の参拝客を尻目に広大な裏庭「神苑」に抜け出し、足元を気にしながら池のほとりを散策し、南禅寺に向かいました。雪の中の静寂さと琵琶湖疏水の悠々さは、冬なればこそ京都でしょう。本当にたまたまのラッキーな旅でした。清水から大谷の墓地を抜けて智積院を訪ねましたが、墓参りにすれ違う京都の人々と会釈を交わす度に、なぜかこちらも気持ち洗われるようで、思いがけなく爽やかな年明けとなりました。

やはり歩くこと、ゆっくりでも自分の足で進めることは、何かが「のさる」ものなのでしょうね。私もまた今年一年、精一杯に過ごしていこうと思います。

最後になりますが、皆様方の本年のご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。何卒よろしく願いいたします。



青磁野リハビリテーション病院
 院長 金澤 親良

今年は新年早々からインフルエンザが猛威をふるっており、当院でも職員に感染が広がり、

患者さんも一部発症されました。職員は特別な理由がない限り全員が予防注射を実施しており、日頃の手洗いや部屋の換気を励行、発症後は自宅待機とし、患者さんについては行動範囲の限定、見舞客の制限、病室・その他の生活空間の消毒など、拡大の防止に努めました。抵抗力の低い高齢者の多い当院では重症化の防止が最も重要で、医師、看護師全員で治療を行いました。まだまだ寒い日が続いており、今後も注意して診療にあたりたいと考えています。

今年は4月に介護保険制度改正があり、多くの介護保険サービス利用者の方から不安の声が届いています。国の方針として、地域包括医療という新しい概念のもと、これまでのような医療機関や介護施設、訪問サービスなどの公的な保険診療に頼った高齢者支援の考え方を考えようとしています。地域にはこれまでも、地域のために活動されている多くの組織があり、それぞれ独自の目的、方法で多くの高齢者を支援されています。医療機関だけではなく、こうした多くの地域の資源を活用して地域全体を支えていくことが求められています。もちろん簡単なことではありません。これまで以上に地域の皆さまと一緒に、地域から必要とされる医療機関を目指したいと考えていますので、皆さまのご意見、ご指導をお願いいたします。



せいじの146号

- 新しい医師を迎えました
- インフルエンザの予防と対策
- 平成27年4月介護報酬改定のポイント
- クローズアップ！情報管理課
- ドクター紹介「整形外科 金井クリニック」

新任医師のご紹介

平成27年2月より新しい医師を迎えました。



副院長 森 孝志 (もり たかし)

診療科目：内科・呼吸器内科

専門は、慢性閉塞性肺疾患(COPD=タバコ肺)や間質性肺炎、肺炎などの呼吸器疾患で、これまで在宅酸素療法や呼吸リハビリテーション等にも取り組んでまいりました。その他、生活習慣病などの一般内科疾患も診せていただいています。お気軽にご相談ください。

今後も急性期病院と連携した医療、そして地域に根づいた医療に貢献できますよう、微力ながら努力したいと思います。よろしくお願いたします。

今季はインフルエンザA型が大流行しています！

今季はインフルエンザA型が例年になく大流行し、現在減少傾向にあるとはいってもまだまだ警報レベルにあります。ワクチンの効果が小さかった？タミフルの予防内服の効果も…？など、大流行の原因についても検討されているところです。

インフルエンザウイルスにはA型・B型・C型があり、毎年12月から3月にかけて流行するインフルエンザウイルスを原因とする感染症です。現在はA型が流行していますが、3月中旬になるとインフルエンザB型が流行してきます。A型にかかったあと、B型にかかってしまう場合もありますので、しっかりと予防対策をしなければいけません。B型は、A型とは違い流行の規模もそれほど大きくないのですが、消化器症状が強く出る傾向にあります。

インフルエンザの感染原因としては、ウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる接触感染および患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる飛まつ感染（一部空気感染）に分かれます。

したがって、予防するポイントは・・・

- 1 何より手指の消毒です。ハンドソープと流水による手洗いが大切です。手指にすり込むタイプのアルコール製剤での消毒も有効です。
- 2 咳エチケットとして、咳やくしゃみをする時はティッシュやマスクを口と鼻にあて他の人に直接飛まつ(しぶき)がかからないようにしましょう。そして、マスクを正しく装着します。

3 ワクチン接種も重要です。接種時期としては、ワクチンの効果が現れる(免疫が出来る)のは接種後2～4週間後、効果が持続するのは接種後5ヶ月程度、流行の時期はほぼ毎年12月上旬～4月下旬、ということで11月中の接種をお勧めしています

4 インフルエンザウイルスは乾燥を好むため、乾燥しやすいこの季節ですが、部屋の湿度をウイルスが活動しにくいと言われている50%～60%に保ちます。

また、かかってしまった場合には、以下のことを守りましょう！

- 1 安静にして、水分を十分にとり、休養しましょう
- 2 医療機関から処方された薬を確実に服薬しましょう
- 3 学校保健安全法では出席停止期間の基準を「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日(幼児にあっては3日)を経過するまで」と定めています。症状が改善しても他への感染力は持続しますので、不要不急の外出を控えましょう
- 4 しっかり手洗いを行いましょう
- 5 咳エチケットとしてマスクをしましょう

(感染対策委員会)



平成27年4月

介護保険制度改正のポイント (介護老人保健施設青翔苑 副施設長 永廣研二)

平成27年度介護保険制度の改正は、団塊の世代が75歳以上になる2025年(平成37年)を見据えた施策「地域包括ケアシステムの構築」、「介護保険制度の持続可能性の確保のための重点化・効率化(費用負担の公平化)」の2点が基本的な考え方として提示されました。

地域包括ケアシステムの構築

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、介護・医療・生活支援・介護予防が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築の実現に向け、地域支援事業(地域の実情に応じ市町村が実施)を充実させます。

具体的には、①在宅医療・介護連携の推進、②認知症施策の推進、③地域ケア会議の推進、④生活支援サービスの充実・強化を行い、地域づくりを推進します。

重点化・効率化として、①全国一律の予防給付(要支援の認定を受けた方が利用できる介護サービス)のうち、訪問介護・通所介護のみを市町村が取り組む地域支援事業に移行し、多様化すること(段階的に移行～29年度)、②特別養護老人ホームの新規入所者を、原則、要介護3以上に限定すること(既入所者は除く。要介護1・2でも一定の場合には入所可能)があげられます。

介護保険制度の持続可能性の確保

費用負担の公平化として、低所得者の保険料の軽減割合が拡大されます。また、①一定以上の所得のある利用者の自己負担を2割に引上げ(施行は平成27年8月予定)、高額介護サービス費の上限も引上げる、②低所得者の施設利用者の食費・居住費を補填する「補足給付」の要件に資産(預貯金・非課税年金等)を追加し、保険料の上昇をできる限り抑えるため、所得や資産のある人の利用者負担を見直すかとされています。



クローズアップ!

～青磁野リハビリテーション病院 情報管理課 編～

私たち情報管理課は4名の部署で、主な業務内容は大きく3つに分かれます。1つ目はシステム管理で、法人全体における「システムの構築・運用・保守」業務を行っています。現在、全ての部署にパソコンが設置されており、様々な業務に利用されているシステムを管理し、業務環境の改善を推進しています。

2つ目はドクタークラークで、「医師が関係する文書管理や診療補助」業務を行っています。

3つ目は診療録管理で、個人情報保護・守秘義務を前提として「診療録(カルテ)等の保管・管理」業務を行っています。また、各種統計資料等を作成することで医療の質向上へ努めています。

私たちは患者さまやご利用者の皆さまと直接接する機会は少なく、裏方的な仕事を行っていますが、職員が円滑に仕事ができるよう法人すべての部署に足を運び、日々の業務に取り組んでいます。

(情報管理課 主任 織島史満孝)



地域連携ドクター紹介

整形外科 金井クリニック 院長 金井 隆幸 先生

平成20年1月に熊本医療センターの下に整形外科のクリニックを開業し、丸7年になりました。

捻挫、骨折などの外傷、関節痛、腰痛、神経痛など整形外科全般の疾患に対して、理学療法士による運動器リハビリや器械による物理療法、骨粗鬆症に対する検査、治療を行っておりますが、症状が強く入院治療が必要な患者様に関しましては、青磁野リハビリテーション病院にはこれまでも大変お世話になっておりました。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

診療日・診療時間

	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○
2:00~7:30	○	●	○		○	

●…火曜は6:30まで 日祝休診

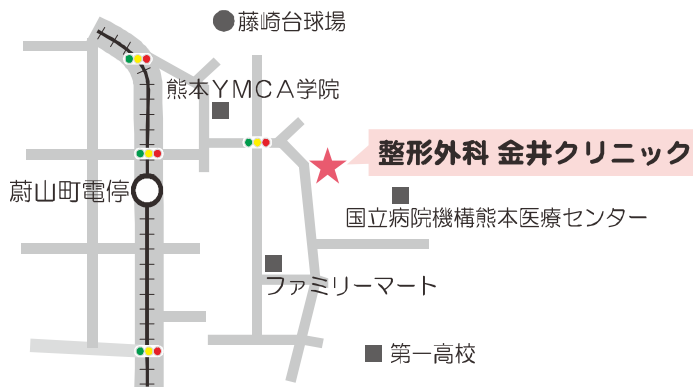


診療科目

整形外科、リハビリテーション科

所在地

熊本市中央区古城町1-6 TEL 096-227-7750



青磁野リハビリテーション病院 外来診療担当表

平成27年2月1日～3月31日

《受付時間》 午前／ 8:30～12:00
午後／13:30～17:00

《診療時間》 午前／ 9:00～12:00
午後／14:00～17:00

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	金澤知	金澤知	石本	金澤知	竹内	第1-3-5 豊田
		石本	森	岩本	岩岡	金澤尚	第2-4 菊川
		釘宮	上野	金澤尚	佐々木	安野	—
	午後	上野	竹内	(予約制)安野	佐々木	岩岡	橋本
		釘宮	岩岡	森	(予約制)石本	高木	—
整形外科	午前	金澤親	金澤親	金澤親	金澤親	徳安	—
	午前 (リハ室)	徳安	徳安	徳安	徳安	金澤親	—
	午後	予約制					—

●金澤会理念●

私たちは、社会から信頼され必要とされる医療と福祉の実現を目指します

●基本方針（3本柱）●

1. 医療（メディカル・ケア）

内科・整形外科・リハビリテーション医療の病院として、質の高い医療サービスをご提供します

2. 福祉（ソーシャル・ライフ・ケア）

施設内及び在宅の障害者、高齢者の生活の自立を支援すると共に、医療、福祉に関する様々なご相談にお応えします

3. 健康（ヘルス・プロモーション）

人間ドック、健康診断、企業健診を通して、地域の皆様の健康づくりを支援します

金澤会のデータ

（平成26年度上期）

病院診療情報

- ・ 外来患者延数 18,386人(1日平均122.6人)
- ・ 延べ入院患者数 38,231人(1日平均208.9人)
- ・ 新入院患者数 399人
- ・ 退院患者数 401人

せいじの146号 平成27年2月
発行●医療法人金澤会
発行人●金澤 知徳
編集●青磁野リハビリテーション病院 総務課
〒860-8515 熊本市西区島崎2丁目22-15
TEL096-354-1731 FAX096-354-1736
<http://www.seijino.or.jp/>



平成23年12月更新